2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	理学療法研究法Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(2)　時間(単位)
対象学年	2年	学期及び曜時限	後期	教室名	機能訓練室、運動生理学実習室
担当教員	専任教員、橘田勇紀	実務経験とその関連資格	臨床および大学院での研究実務に従事した		

《授業科目における学習内容》

近年、理学療法士においても他の医療従事者と同様に科学的根拠に基づく医療の提供が必要である。本講義では、研究方法はもとより研究法を通じて治療選択の基礎となる文献の検索方法から吟味、治療の妥当性の検証方法を学び、理学療法士に対する業務内容について更に理解を深める。

《成績評価の方法と基準》

出席点(20%)、課題提出点(80%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

《授業外における学習方法》

グループごとに研究を行うため、個々の役割分担および各学生の積極的な姿勢が重要となります。

《履修に当たっての留意点》

グーループごと(6グループ)に研究を行います。わからないことはそのつど解決するように努めてください。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	研究計画書を作成する	配布資料	グループごとに計画書を作成する(60分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書を作成する	配布資料	グループごとに計画書を作成する(60分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書を作成する	配布資料	グループごとに計画書を作成する(60分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書を作成する	配布資料	グループごとに計画書を作成する(60分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予備研究の実施	配布資料	予備研究のまとめを行う(60分)
		各コマにおける授業予定	予備研究		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	予備研究の実施	配布資料	予備研究のまとめを行う(60分)
		各コマにおける授業予定	予備研究		
第7回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書の見直し	配布資料	研究計画書の修正(60分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書作成		
第8回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	研究計画書の見直し	配布資料	研究計画書の修正(60分)
		各コマにおける授業予定	研究計画書作成		
第9回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	中間報告	配布資料	中間報告の反省(60分)
		各コマにおける授業予定	中間報告		
第10回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第11回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第12回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第13回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第14回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第15回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		

2026　年度 授業計画(シラバス)

学　科	理学療法士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	理学療法研究法Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60　(2)　時間(単位)
対象学年	2年	学期及び曜時限	後期	教室名	機能訓練室、運動生理学実習室
担当教員	専任教員、橘田勇紀	実務経験とその関連資格	臨床および大学院での研究実務に従事した		

《授業科目における学習内容》

近年、理学療法士においても他の医療従事者と同様に科学的根拠に基づく医療の提供が必要である。本講義では、研究方法はもとより研究法を通じて治療選択の基礎となる文献の検索方法から吟味、治療の妥当性の検証方法を学び、理学療法士に対する業務内容について更に理解を深める。

《成績評価の方法と基準》

出席点(20%)、課題提出点(80%)

《使用教材(教科書)及び参考図書》

《授業外における学習方法》

グループごとに研究を行うため、個々の役割分担および各学生の積極的な姿勢が重要となります。

《履修に当たっての留意点》

グーループごと(6グループ)に研究を行います。わからないことはそのつど解決するように努めてください。

授業の方法			内　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第22回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第23回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第24回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第25回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第26回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第27回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第28回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第29回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省と次回実施手順の確認(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		
第30回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	データ収集	配布資料	研究実施の反省(60分)
		各コマにおける授業予定	データ収集		